

円山動物園で 新たにゾウを飼うべきか 皆さんのご意見を募集

円山動物園は、平成19年にゾウの花子が死んで以来、ゾウがいない状態が続いています。そのような中、市民からゾウを求める声が上がリ、今、動物園ではゾウを飼うべきかどうかの検討を進めています。今回の誌面では、ゾウを飼う場合の費用や、飼育方法などの概要を紹介するので、皆さんのご意見をお寄せください。

[詳細] 円山動物園 ☎621-1426



これまでの経緯とこれから

これまで

円山動物園の人気者「ゾウ」が居なくなった

同園には、雌のゾウ「花子」と「リリー」がいました。大きな体と長い鼻を揺らしながら、ゆったりと歩き回るゾウは、子どもたちに大人気。50年以上もの間、動物園の主役であり続けましたが、平成11年にリリーが死に、19年には花子も死んでしまいました。



↓ 市民の声の高まり

花子がなくなった後、動物園には「またゾウを飼ってほしい」との声が寄せられるようになりました。今年4月には、約3万人分の署名も届けられました。

↓ 新たにゾウを飼うべきか検討することに

これから

平成24年
5月～8月

ゾウの導入について本誌や市民アンケートなどで意見を募集し、検討を進める

24年9月～
25年度

ゾウの原産国（東南アジア諸国、インドなど）へ行き、費用や導入する頭数、飼育条件などを調査

26年度

導入可否を最終判断



ゾウを飼うことになった場合

27年度以降

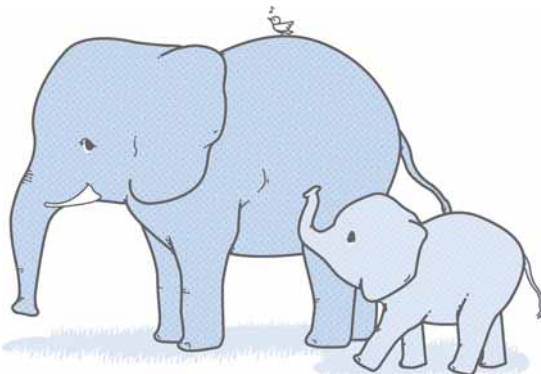
飼育施設の建設を開始し、ゾウを飼育

ゾウってこんな動物

ゾウにはアジアゾウとアフリカゾウ、マルミミゾウの3種類があり、円山動物園ではアジアゾウ導入の検討を進めています。

●データ(アジアゾウ)

世界での生息数／36,000頭～51,000頭
道内飼育状況／1頭のみ(帯広市動物園)
国内飼育状況／63頭(平成23年1月現在)



穏やかな性格

アジアゾウは穏やかで従順。知性が高く、友達思いで、仲間が死ぬと皆で一緒に悲しむといわれています。

長い鼻

臭いを嗅ぐだけでなく、物をたたいたり、つかんだりします。

低周波を聞きとる耳

耳が良く、わずかな音で危険を察知したり、人には聞こえない低周波の鳴き声でコミュニケーションをとったりします。

飼育するか
どうか
現在検討中

もし、新たにゾウを飼育するならば

希少動物を保護するワシントン条約により、繁殖目的での飼育が必要です。そのため、繁殖に適した、野生に近い環境づくりや飼育方法を検討しています。

複数頭での飼育環境を整備



繁殖を目指し、複数頭の雄・雌が過ごせるよう広い敷地を用意。水はけの良い砂を敷き詰め、ゾウたちが野生に近い環境で過ごせるようにします。

水場や遊び道具を用意



水遊びが大好きなゾウのために水場を設置するほか、餌を探す様子が見られるよう工夫します。

新しい飼育方法を導入



鎖などを使って調教せず、ゾウに優しく飼育員にも安全な飼育方法を採用。ゾウがストレスをためないよう、健康管理なども行います。

意義

子どもたちに驚きと感動を

ゾウは陸上最大の動物。野生に近い環境で大きなゾウの生き生きとした姿を見られることは、子どもたちに驚きや感動を与え、情感豊かな心を養います。また、命の尊さを伝え、動物への愛情を育むきっかけとなります。



地球環境を考える契機に

ゾウは、森林の破壊による生息地の減少や密猟により、絶滅の危機にひんしています。ゾウを間近に見ることは、私たちに動物と自然との関係や地球環境の大切さを考える機会を与えてくれます。

課題

施設の建設費と維持費が必要に

ワシントン条約により、新たにゾウを飼う場合は繁殖を目的に飼育しなければならず、最低でも3頭以上の飼育が必要といわれています。そのため、複数頭を飼育できる十分な大きさの施設の建設と、それを維持管理するための多額の費用が必要となります。

〈 想定される費用 〉

飼育施設などの建設費…約20億円
(小学校の建設費1校分とほぼ同等)

光熱費や水・餌代…2,000万円／年

※費用は現在想定される金額で、今後の調査や導入される頭数などにより変動します。

ご意見募集

ゾウを飼育するかどうかについて、皆様のご意見を参考に検討していきます。要望、アイデアなど、自由なご意見をお寄せください。

提出方法はがき、封書、ファクス、Eメール。6/30(土)(必着)までに円山動物園(〒064-0959 中央区宮ヶ丘3、FAX621-1428、Eメールelephant.maruyama@city.sapporo.jp)へ。

詳しいリーフレットも配布します

5月25日(金)から区役所、円山動物園などで配布。動物園のホームページにも詳しい情報を掲載します。

ゾウに関する講演会を開催

ゾウの専門家が、アジアゾウの現状や動物園での飼育について、課題や意義などをお話します。ぜひ、ご参加の上、左記へご意見をお寄せください。



日時5/26(土)14時~15時

会場北海道大学学術交流会館(北区北8西5)

定員300人。**費用**無料。

申し込み電話、ファクス、Eメール。住所、氏名、年齢、電話番号を記入し、5/11(金)から市コールセンター(☎222-4894、FAX221-4894、Eメールinfo4894@city.sapporo.jp)へ。先着